NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事を題材に意見文を書こう

2．学校名

岐阜県土岐市立駄知中学校

3．実践者名（代表者名）

細江　隆一

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　36人

6．単元（本時の学習課題）名

説得力のある文章を書こう

7．目標（狙い）

新聞記事を題材にしながらそこから考えた意見や考えを、構成を工夫し、論理的な流れを大事にしながら、相手を説得させるような意見文を書く。

8．評価の視点

根拠を明らかにしながら、文章の流れを工夫し、読み手を意識した意見文を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「生き物として生きる」(教科書教材:光村図書)　5時間
「説得力のある文章を書こう」　3時間　　合計8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)教材文「生き物として生きる」を読み、学習全体のめあてをもつ。 (1時間)
(2)「生き物として生きる」の要旨をとらえて筆者の考えを読み取り、論理的な展開の工夫を学ぶとともに、筆者の主張に対する自分の意見をもつ。 (4時間)
(3)新聞記事からテーマを決め、説得力のある意見文を書く。 (3時間)
(留意点)
・新聞記事をあらかじめ選ばせ、もってこさせる。選べない生徒のために教師側も新聞を用意しておく。できれば身近なテーマを選択させ、見聞や体験を交えた文章を書かせたい。
・テーマを選択した生徒には構成をノートに記入させたい。その場合、理由を二つ以上挙げ、反論を予想し、意見を構築することを指示したい。
・意見文の下書きを班内で交流して推敲させる。特に、誤字・脱字のチェックとともに、説得力の有無を交流させたい。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

朝青龍の引退問題の最中だったので、その是非を問う意見文が多かった。中にはハイチの大地震やJAL破綻のニュースに対する意見文を書いた生徒もいた。事実と意見を区別し、根拠を明らかにしながら、論理的に説明しようとする生徒がたくさんいた。

12．成果と課題

成果は、新聞記事を読み解き、自分なりの意見を構築した生徒が多数いたことと、特に自分の見聞や体験を取り入れ、読み手を意識して文章化した生徒が多かったことである。
課題は、新聞記事を完全に読み解けず、抽象的な意見で止まる生徒への適切な支援と、仲間からのアドバイスを参考に客観的に文章化できる生徒の育成である。